

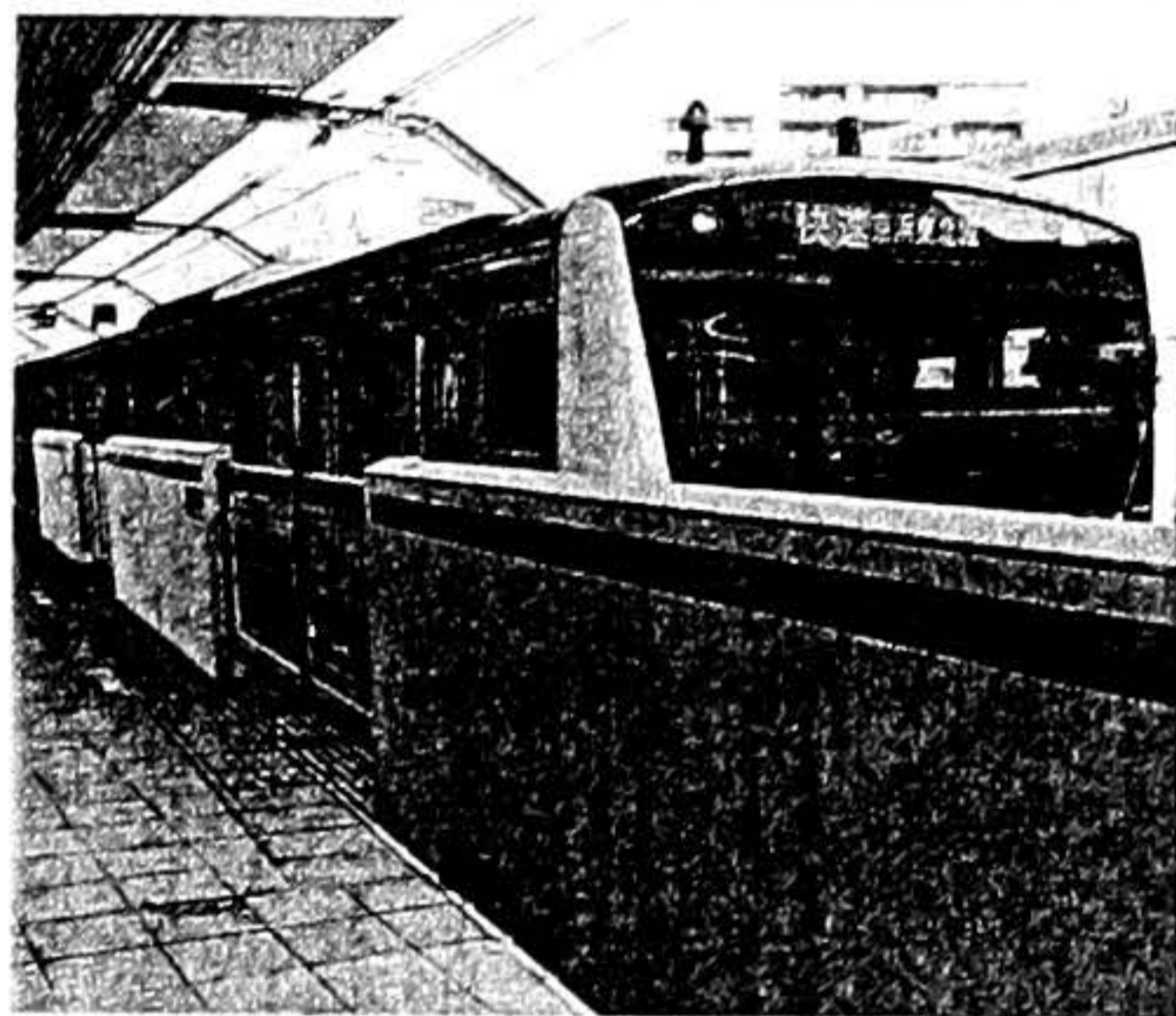
県議会一般質問

# 「ホームドア設置を」続々

## 盲導犬男性事故受け 多額コストなど課題

東京都港区の東京メトロ銀座線青山一丁目駅で八月、盲導犬を連れた男性がホームから転落、電車にはねられて死亡した事故を受け、開会中の県議会九月定例会の一般質問でホームドアの設置など障害者への安全確保を県に求める声が上がった。ただ、駅や電車の構造上の問題や多額の設置費用など課題も多く、県側が速やかなホームドア設置を約束できる状況にないようだ。

(富江直樹)



浦和駅のホームドア設置イメージ (JR東日本提供)

JR東日本でも浦和駅とさいたま新都心駅で来年中に整備される。ただ、県内で最も利用者が多いJR大宮駅をはじめ、他の多くの駅では見通しは立っていない。県は事業者の取り組みを後押しするホームドア設置促進モデル事業を一三年度に始めたが、対象は和光市駅と川越駅にとどまっている。

ネックとなっているのは多額のコストだ。ドアの設置だけで一ホーム当たり数億円かかるうえ、古い駅だとホームの土台の工事から必要になるといふ。さらに車両によってドアの位置が

先月二十九日に立石泰広議員(自民)、四日に安藤友貴議員(公明)が転落防止のホームドアの設置状況や障害者対策についてたずねた。立石議員は事件を取り上げ「早急にホームドア対策を講じなければならぬ。ハード面の整備と同時に、障害者への声掛けなどソフト面の充実にも努めるべきだ」と指摘した。

設置に向け、鉄道事業者に働きかけていく」と答弁するにとどまった。県交通政策課によると、県内でホームドアが設置されているのは、開業が比較的新しい埼玉高速鉄道とつ

## 障害者施設 最寄り駅で要望

ホームドア設置を巡っては昨年夏、あった。

国土交通省は利用者が一日十万人以上の駅へのホームドアの設置を優先的に進めており、来年度予算案などに補助費用を上積みする方針だが、県側は「早期の

ホームドア設置を巡っては昨年夏、あった。両駅とも国が設置を急ぐ目安としていたたま市浦和区)の最寄りのJRさいたま新都心駅と、国立障害者リハビリテーションセンター(所沢市)に近い西武新所沢駅への設置を求める要望が

新所沢駅、見通し立たず

異なることも、普及を阻害する一因となっている。

◇ 県内の一日の利用者十万人以上の駅は次の通り。

- ▽JR 大宮、浦和、川口、南越谷、北朝霞、南浦和、蕨、西川口、北浦和
- ▽東武 和光市、朝霞台、新越谷、大宮、川越、志木